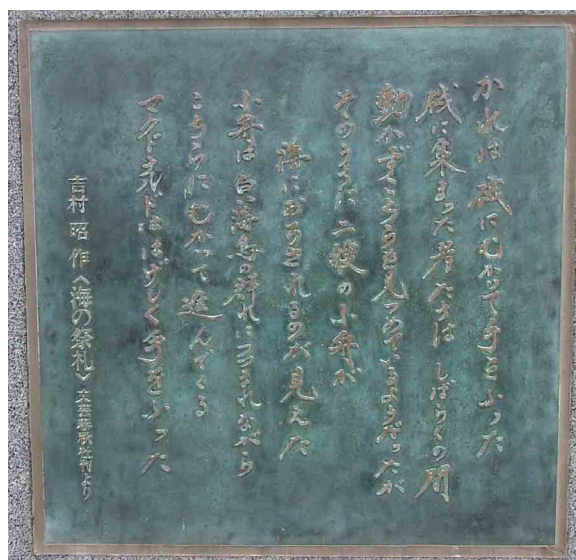




◆吉村昭文学碑

〈表〉

かれは 磯にむかって手をふった
 磯に集まった者たちは しばらくの間
 動かずこちらを見つめているようだったが
 そのうちに二艘の小舟が
 海におろされるのが見えた
 小舟は 白い海鳥の群れにつつまれながら
 こちらにむかって進んでくる
 マクドナルドは はげしく手をふった
 吉村昭作〈海の祭礼〉文藝春秋社刊より



〈裏〉

吉村昭
 昭和二年五月一日 東京に生まれる
 昭和四十一年 〈星への旅〉により太宰治賞受賞
 昭和四十八年 〈戦艦武蔵〉〈関東大震災〉により
 菊池寛賞受賞
 昭和五十四年 〈ふおん・しいほととの娘〉により
 吉川英治文学賞受賞
 昭和六十年 〈冷い夏、熱い夏〉により
 毎日芸術賞受賞
 〈破獄〉により読売文学賞受賞
 芸術選奨文部大臣賞をそれぞれ受賞
 昭和六十二年 日本芸術院賞受賞
 平成四年 東京都民文化栄誉賞受賞
 平成六年 〈天狗争乱〉により大仏次郎賞受賞



◆ラナルド・マクドナルド顕彰碑

〈表〉

嘉永元年六月二日（一八四八年）
 日本に憧れたアメリカ人
 ラナルド・マクドナルドが
 捕鯨船から単身この地に上陸し
 長崎に護送され日本人に初めて
 英会話を教えた
 これによって英会話に習熟した者たちが
 列強と日本との外交交渉に貢献し
 日本を滅亡の危機から救った
 この利尻島の上陸地は
 歴史上、大きな意義を持つのである

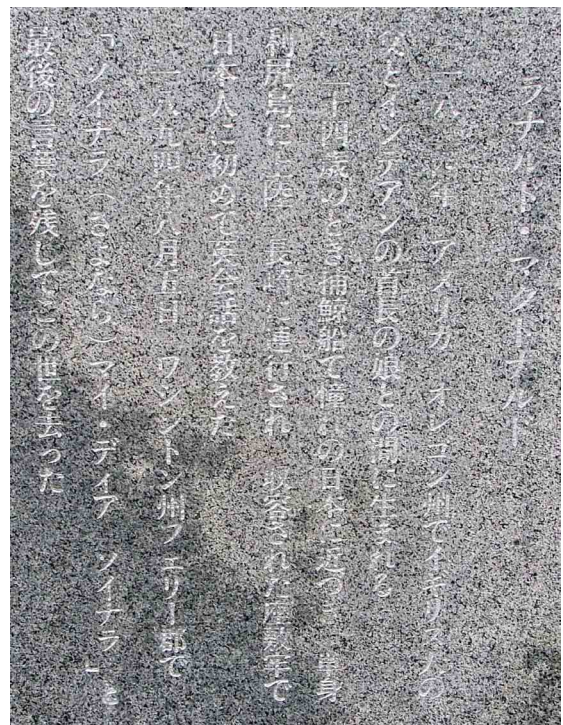
吉村 昭

※六月二日は旧暦（新暦では七月二日）



〈裏〉

ラナルド・マクドナルド
 一八二四年 アメリカ オレゴン州でイギリス人の
 父とインディアン首長の娘との間に生まれる
 二十四歳のとき捕鯨船で憧れの日本に近づき 単身
 利尻島に上陸 長崎に連行され 収容された座敷牢で
 日本人に初めて英会話を教えた
 一八九四年八月五日 ワシントン州フェリー郡で
 「ソイナラ（さよなら）マイ・ディア・ソイナラ」と
 最後の言葉を残してこの世を去った



この地に上陸した ラナルド・マクドナルドの
 事跡を顕彰して 昭和六二年に建立した木製の
 記念碑が老朽化 強風によって倒壊したため
 利尻ロータリークラブは 町と再建整備を協議し
 ここに マクドナルドの数奇な運命を書いた
 吉村昭作小説〈海の祭礼〉の文学碑と共に
 本格的な記念碑を建立するものである

平成8年10月16日

利尻富士町
 利尻ロータリークラブ

◆英文銅板（鈴木重吉氏文案）

In 1848('Kaei'1) Ranald MacDonald born in Oregon, reached 'Notsuka' pretending to be a shipwrecked sailor. He felt deep racial connections with Japan across the Pacific, although he knew of her total seclusion from the outside world. Inevitably he was arrested and sent to Nagasaki via Soya and Matsumae. During his imprisonment in Japan, he did his best for mutual understanding and friendship between the two peoples, transcending the language barriers.

Five years later when Commodore Perry came to force open the closed doors of Japan, MacDonald's former students at Nagasaki, Einosuke Moriyama and others, played an important role as official interpreters. Thus Ranald enjoys the honor of being the first formal teacher of English and indirectly a father of modernizing Japan.

【和訳】オレゴン州生まれのラナルド・マクドナルドは、1848（嘉永元）年、遭難した船員を装いこの野塚に上陸した。彼は、太平洋を越えた日本が鎖国下にあったことを知っていたが、日本人に対し深い民族的な絆を感じていた。当然、彼は、宗谷・松前経由で長崎へ移送されたが、拘留の間、彼は言葉の壁を克服しようと、両国民の相互理解と親善に尽くした。

それから5年後、ペリー提督が黒船を率いて日本の鎖国を破ったとき、幕府の通詞として重要な役割を主として果たしたのは、森山栄之助はじめ長崎でマクドナルドが教えた若者達であった。

こうして、ラナルド・マクドナルドは、我が国最初の英語教師として、また間接的には日本近代化の父の1人としての榮譽を担っている。

